



8月、スポーツの夏。 人の想いを次世代へ。

■新型コロナウイルス 「第7波」急拡大

オミクロン株「BA.5系統」の圧倒的な感染スピードにより、全国的にこれまでのピークを大きく上回る勢いで感染者数が増加しています。美濃加茂市では、7月26日に1日あたり過去最多の126名の感染を確認しました。その中でも、未就学児や小学生などのお子さん、その親世代の感染が多い傾向となっています。

このような感染急拡大、特に小児科外来や救急搬送の急増などにより、コロナ医療だけでなく一般医療もひっ迫するほどの多大な影響を与えています。このような状況下、岐阜県はその対策として

「医療・療養・検査体制」を見直し、症状が重い人や基礎疾患のある人への対応をより重視することとしました。現在、

コロナ陽性の診断がされた人に対しても、「50歳以上である」「妊娠中である」このどちらにも該当しない人には、保健所からの聞き取り調査の後、電話での連絡はありません。これはほんの一例で、自宅療養期間、濃厚接触者の自宅待機期間、無料PCR検査の対象者など、コロナ関連のルールは日に日に更新されています。常に新しい情報をインターネット等で収集いただき、冷静な対応をお願いします。少しでも不安のある方は、関係機関までお問合せください。

■イベント、地域行事の開催

第7波が急拡大していますが、国や県としては行動指針はあれど行動制限までは出していません。これは、ウイルスの性質や重症患者数、医療体制の状況などを考慮してのことでしょう。むやみやた

らな中止廃止ではなく、私は行うことができる活動は開催していきたいと考えています。



地域の行事やイベントはこれまで人から人へと受け継がれ、姿や形を変えて現在に至っています。中止が続いてしまうと、その担い手やノウハウは失われてしまいます。二度と復活できなくなってしまう前に、その楽しさや活動の意義、歴史、大変さや苦労も含めて、人から人へと引き継がれることを大切にしたいと考えています。同時に、それらのことを踏まえた上で、中止を決定された取り組みについても、その決定を心から尊重しています。今この瞬間のためだけではなく、将来的に姿や形を変えながら大切なものが引き継がれることが重要です。

また、コロナによる影響は子どもたちの生活や成長にも大きな影響を及ぼしています。人と人との接触を分断するコロナ対策により、子どもたちは多くの経験機会を失っているのではないのでしょうか。感染する怖さやリスクもあります

が、それ以上に失っているものが大き過ぎるように感じます。この事態の重大さについての判断は人それぞれ。決して押し付けたり、押し付けられたりするべきではありません。選択ができる環境を提供することは必要だと考えています。議論の余地がある非常に難しい課題ですが、常に多くの情報を入手し、対策の必要性を考え抜き、政策や事業に反映させていきます。

それぞれのお立場、それぞれのお考えがあると思います。多様性を尊重しあうことを念頭に置きつつ、ご指摘いただきましたら幸いです。

■安倍元首相のご逝去

首相時代の功績には様々な評価がありますが、私は、直接お話しする機会をいただき、我が国のトップとして判断の難しさや、変化に立ち向かう勇氣、そして孤独についてなど、多くのことを学びました。心よりご冥福をお祈りいたします。



どのような背景があっても、暴力を容認することは許されません。しかしそれと同時に、暴力が隣り合わせであるからと言って政治家と国民の距離が遠くなってしまう事があってはなりません。もっとも、この民主主義の世の中では遠くなること自体が不可能なことでもあるでしょう。今回の一件については、警護体制に問題を感じずにはいられませんが、その他にも私たちの周りには、「もしものこと」を考えているようで対応できていないことは山ほどあります。

今回の件から、一つでも多くのことを学び、より良い明日へと繋げていかなければ故人が報われれないと思います。

■今一度、災害リスク、避難行動の確認を

今年は、大きな災害がないまま8月を迎えることができました。台風シーズンはこれからですが、昨今は「線状降水帯」の状況から目が離せません。私も時間があればスマートフォンで天気図を見えています。備蓄品はありますか？災害時の家族との連絡手段、集合場所は話合っていますか？勤務先、学校、通勤・通学路には危険区域はありませんか？

もしものために、今、行動をしておいてください。

■スポーツ活動が積極的に行われています！

毎日のように、全国大会出場選手の皆さんが市長室に訪問に来てくれています。美濃加茂市の子どもたち、選手の皆さんが全国の舞台で活躍されることは、大変嬉しいことです。心から応援しています。スポーツは結果ではなく、その過程において多くのことを教えてくれます。

今年の夏は、高校生の全国高等学校野球選手権大会岐阜大会も観戦することができ、胸が熱くなりました。



惜しくも目標には届かなかった選手の皆さんが、その悔しさや仲間との友情、保護者や関係者の方々への感謝の思いを抱きながら、人生の新たな扉を力強く開けてくれることを心から願います。

少し遅れている美濃加茂市のスポーツ環境整備、しっかりと持続可能な施設利用を考えながら推進していきます。

藤井浩人